

平成 30 年度質問紙調査による結果（猪名川町内中学校）

【調査の主旨】

子どもたちの学力を左右するのは、単に学校の授業だけにとどまらず、学校や家庭での過ごし方など日常生活や自尊感情等が大きく影響すると考えられます。日常の生活実態をアンケート調査して、規律ある生活、また自分をコントロールできる生活ができるように、普段の生活を見直すよう調査しました。

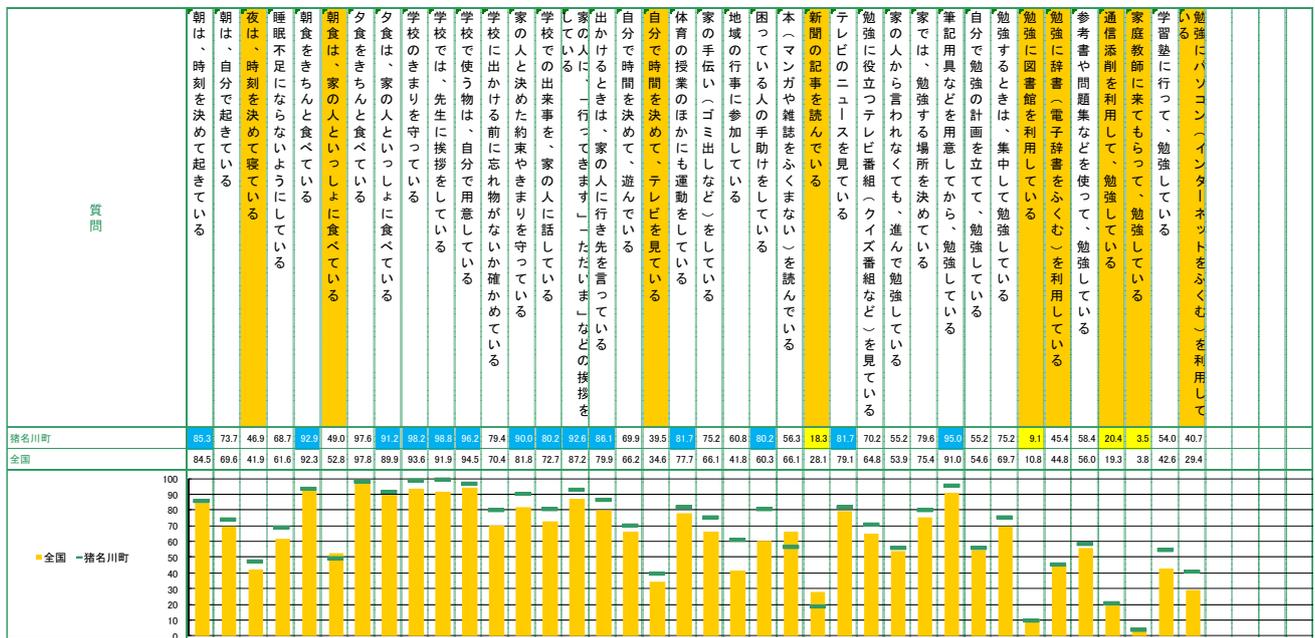
■日常生活における基本質問の全国比較

【標準学力調査対応】
生活行動・学習活動調査

中学校2年
生活行動

学年・基本質問回答傾向

猪名川町教育委員会
第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。
 ※「生活行動」の「学年・基本質問回答傾向」では、学年における「生活行動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の質問に網をかけた。また、全国との比較も示し、全国肯定率に対してマイナス15%以上乖離した質問を太線で囲みました。
 ※網のかけられた質問や太線で囲まれた質問については、学年における「生活指導」の参考にご覧ください。

○町内の中学校2年生の生徒の日常生活は、概ね良好な状況にあります。肯定的な回答は高い水準にあり、普段の生活に乱れは見られません。80%以上の肯定率で、全国比率から見ても高い肯定率にあるのは、下記の項目です。

- ・朝は時刻を決めて起きている＝85.3%
- ・朝食をきちんと食べている＝92.9%
- ・夕食は、家の人といっしょに食べている＝91.2%
- ・学校のきまりを守っている＝98.2% 全国平均より規範意識が高い。
- ・学校では先生に挨拶している＝98.8% 全国平均よりかなり高く挨拶の習慣は良好。
- ・学校で使う物は、自分で用意している＝96.2%
- ・家の人と決めた約束やきまりを守っている＝90.0%
- ・学校での出来事を、家の人に話している＝80.2%
- ・家の人に「行ってきます」「ただいま」などの挨拶をしている＝92.6%

- ・ 出かけるときは、家の人に行き先を言っている＝86.1%
- ・ 体育の授業のほかにも運動をしている＝81.7%
- ・ 困っている人の手助けをしている＝80.2%
- ・ テレビのニュースを見ている＝81.7%
- ・ 筆記用具などを用意してから、勉強している＝95.0% 勉強への心構えがある。

○肯定率が低く、また全国的な比率から見て改善すべき項目もあります。

- ・ 朝食は、家の人といっしょに食べている＝49.0%（昨年 49.4%）
- ・ 本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる＝56.3%（昨年 48.6%より改善されてきているが全国より若干低い。）
- ・ 新聞の記事を読んでいる＝18.3%（昨年 28.1%）

☆夕食は家の人と一緒に食べたり、家の人と決めた約束やきまりをまもったり、家の人に「行ってきます」「ただいま」など挨拶をしたりなど、全国平均から見ても家族関係は非常に良好です。また、普段の家庭での生活態度や学校での過ごし方も規律ある行動が出来ており喜ばしい状況にあります。

■生活行動と学力調査のクロス分析

○生活行動に関する質問は「学力調査の結果が良い生徒ほど、自分をコントロールする行動や自分を高めようとする行動に対して肯定的である」との仮説に基づいています。肯定者の正答率と否定者の正答率の比較から、ばらつきはあるが概して肯定率の高い生徒の正答率が高いです。この視点を基に調査結果を見て下さい。

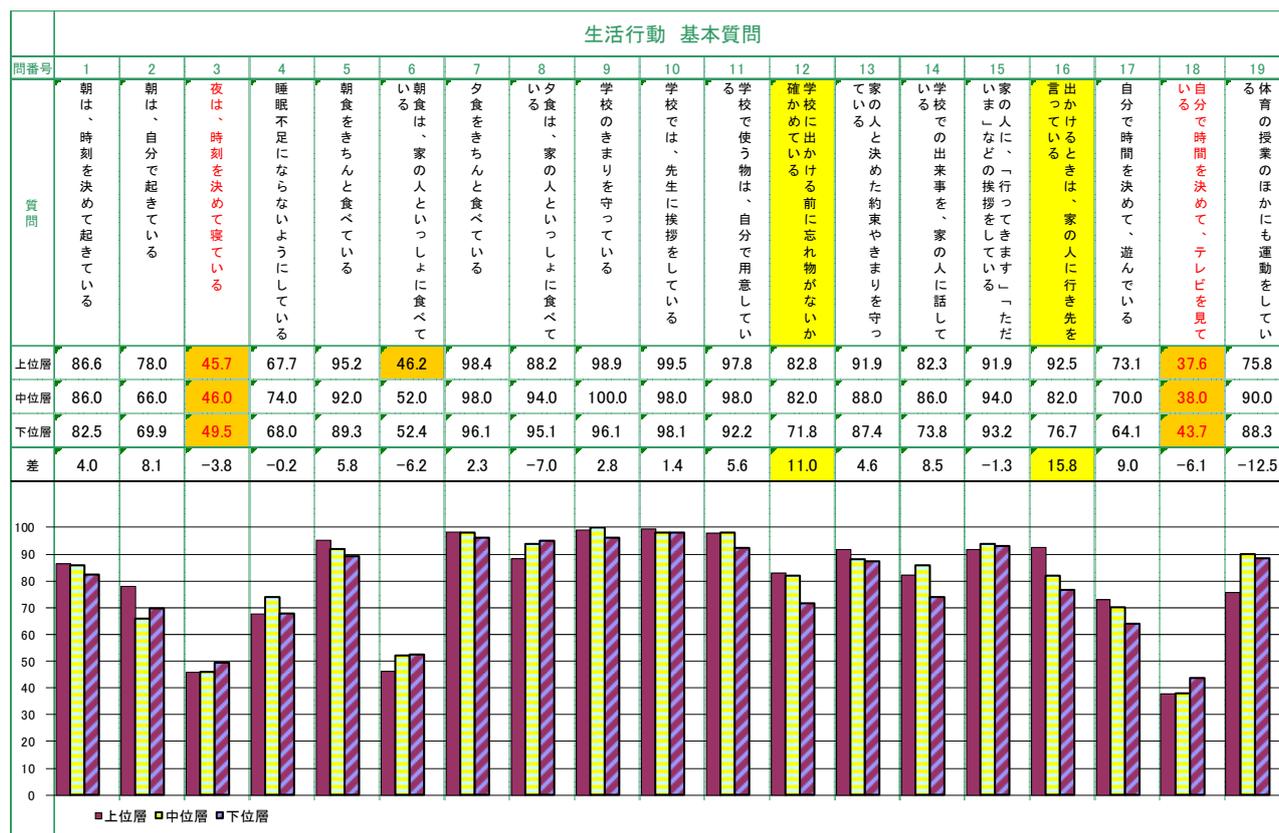
【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年
生活行動

学年・基本質問3階層回答傾向

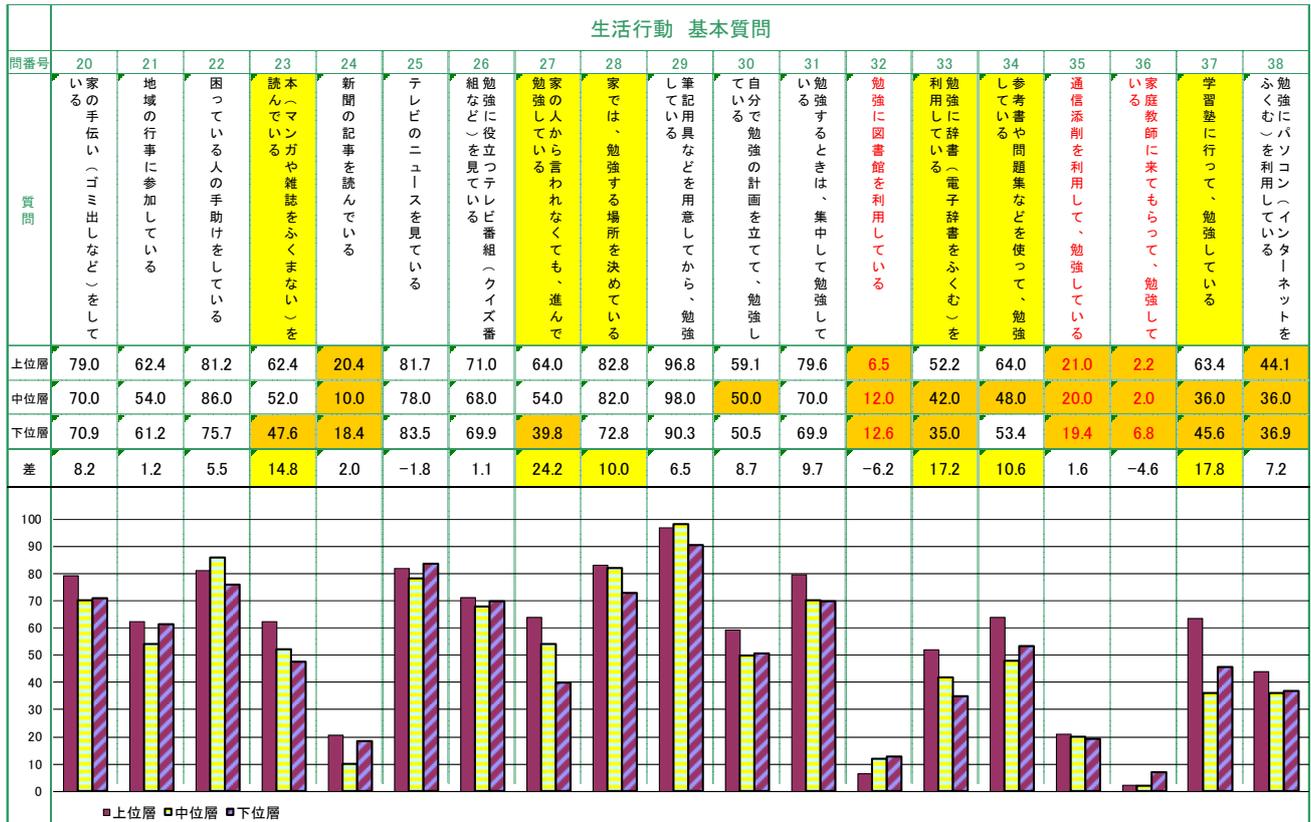
猪名川町教育委員会
第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。

※「生活行動」の「学年・基本質問3階層回答傾向」では、学年における「生活行動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけたまま。

※網のかかれた質問については、学年における「生活指導」の参考にしてください。



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
 ※「生活行動」の『学年・基本質問3階層回答傾向』では、学年における「生活行動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけた。網のかけられた質問については、学年における「生活指導」の参考にして下さい。

○学力調査での上位層と下位層の差が10%以上の質問項目は下記のようになりました。

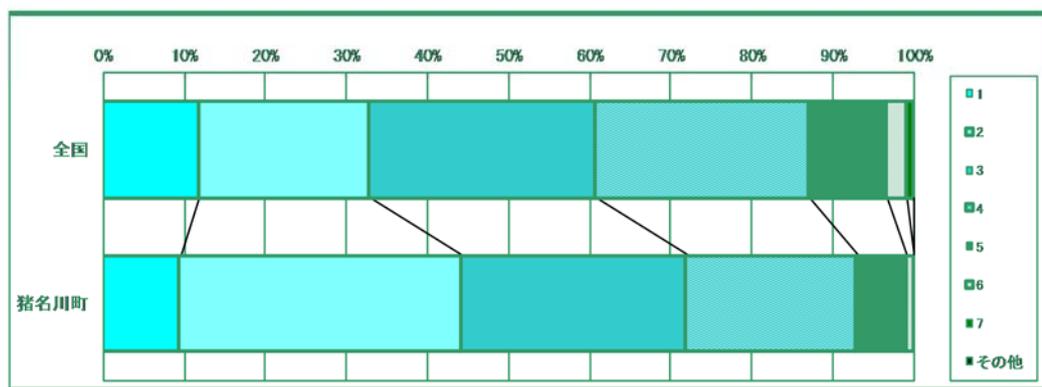
- ・ 学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている＝上位層 82.8%は下位層より 11.0ポイント高い
- ・ 出かけるときは、家の人に行き先を言っている＝上位層 92.5%は下位層より 15.8ポイント高い
- ・ 本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる＝上位層 62.4%は下位層より 14.8ポイント高い
- ・ 家の人から言われなくても、進んで勉強している＝上位層 64.0%は下位層より 24.2ポイント高い
- ・ 家では、勉強する場所を決めている＝上位層 82.8%は下位層より 10.0ポイント高い
- ・ 勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している＝上位層 52.2%は下位層より 17.2ポイント高い
- ・ 参考書や問題集などを使って、勉強している＝上位層 64.0%は下位層より 10.6ポイント高い
- ・ 学習塾に行つて、勉強している＝上位層 63.4%は下位層より 17.8ポイント高い

☆「朝食は家の人といっしょに食べている」や、「体育の授業のほかにも運動をしている」は、下位層の方が若干高い傾向にあります。規範意識を持っている生徒が学力の高い傾向にはありますが、ほとんどの質問項目に大きな乖離は無く、猪名川町の多くの生徒は日常生活において学力に関係なくきちんとした規律ある生活をしていることがうかがえます。全ての層で50%を切っている「時間を決めてテレビを見る」ことや「時刻を決めて就寝する」などの時間意識や「家の人から言われなくても進んで勉強する」といった自己管理意識の向上を目指したいものです。

■発展質問回答状況

学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか

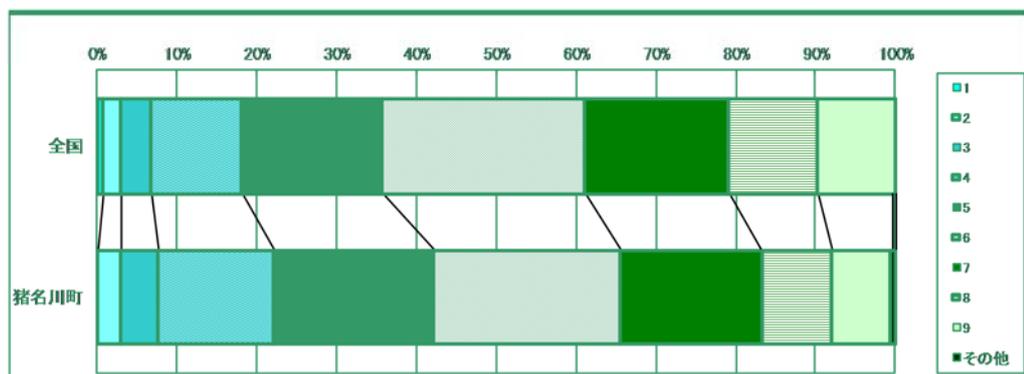
	1 午前6時より前	2 6時ごろ	3 6時30分ごろ	4 7時ごろ	5 7時30分ごろ	6 8時ごろ	7 午前8時より後	その他
全国	11.8	21.0	27.8	26.4	9.5	2.5	0.6	0.4
猪名川町	9.4	34.8	27.7	20.9	6.2	0.9	0.0	0.0



○ほとんどの生徒 92.9% (昨年 96.8%) が 7 時までには起床し、6 時頃が 34.8% (昨年 35.4%) と多いです。小学校同様に全国平均より早起きの傾向があり、良好な状況です。

学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか

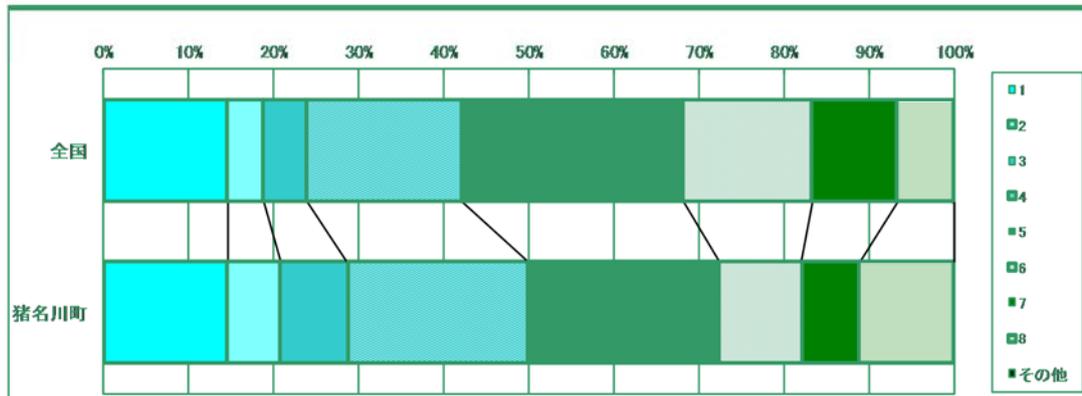
	1 午後9時より前	2 9時ごろ	3 9時30分ごろ	4 10時ごろ	5 10時30分ごろ	6 11時ごろ	7 午後11時30分ごろ	8 午前0時ごろ	9 午前0時より後	その他
全国	0.6	2.2	3.8	11.4	17.7	25.3	18.1	11.1	9.2	0.5
猪名川町	0.0	2.9	4.7	14.5	20.1	23.3	17.7	8.8	7.4	0.6



○10時半～11時ごろに就寝する生徒が 43.4% (昨年 38.9%) と一番多い。11時半ごろまでには、ほとんどの生徒が寝る習慣になっており、良好な状況です。

学校に行く日は、学校の授業時間以外に、1日にどのくらい勉強をしますか

	1 ほとんどしない	2 10分くらい	3 20分くらい	4 30分くらい	5 1時間くらい	6 1時間30分くらい	7 2時間くらい	8 2時間より長い	その他
全国	14.5	4.2	5.2	18.3	26.0	15.1	10.1	6.2	0.6
猪名川町	14.5	6.2	8.0	21.2	22.4	9.7	6.8	11.2	0.0



○「ほとんどしない」が14.5%（昨年17.1%）と昨年よりも減少し全国平均と同じです。家庭学習の習慣をつけることが課題です。

学校が好きである

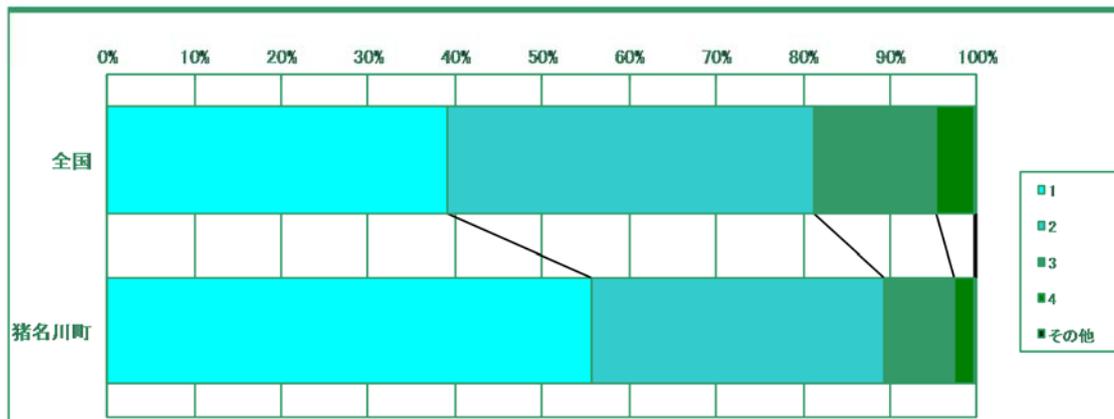
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	33.8	46.3	14.2	5.5	0.2
猪名川町	39.5	44.8	12.4	3.2	0.0



○「学校が好き」と答えた生徒が84.4%（昨年77.7%）と昨年より増加し、全国平均80.1%より高く良好な状況です。

自分が住んでいる地域が好きである

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	39.2	42.0	14.1	4.3	0.3
猪名川町	55.8	33.6	8.0	2.4	0.3



○猪名川町が好きと答えている生徒が89.4%と多く、全国平均81.2%を大幅に上回っています。地域全体で子どもたちを育てている環境となっており非常に喜ばしい状況です。強い肯定「猪名川町が非常に好き（とてもあてはまる）」が55.8%（昨年40.3%）と全国よりも高く、郷土愛は非常に高いです。

自分のことが好きである

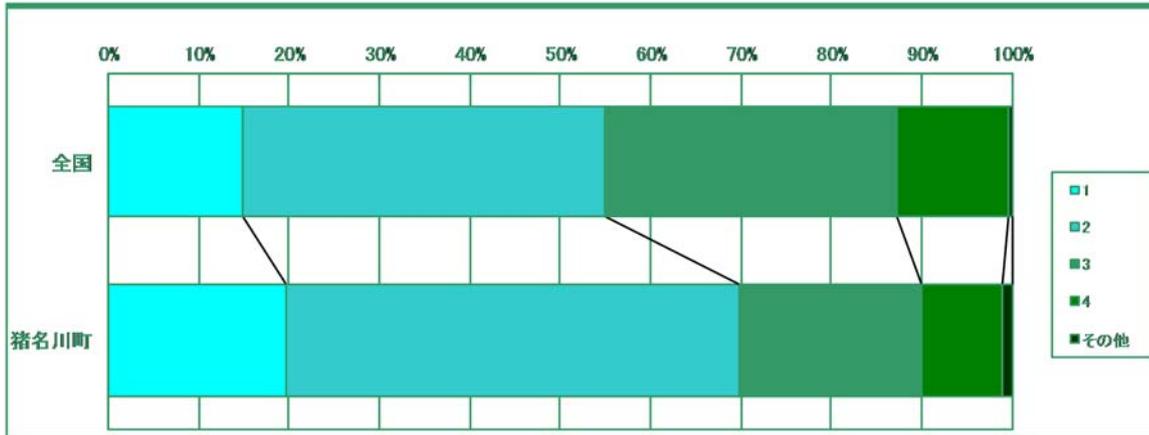
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	10.2	33.2	38.1	18.0	0.5
猪名川町	13.3	41.9	34.5	9.4	0.9



○「自分の事を好き」と思っている生徒は55.2%（昨年44.9%）と全国平均43.4%を大幅に上回り自己肯定感が高い傾向にあり、良好な状況にあります。

自分には、良いところがあると思う

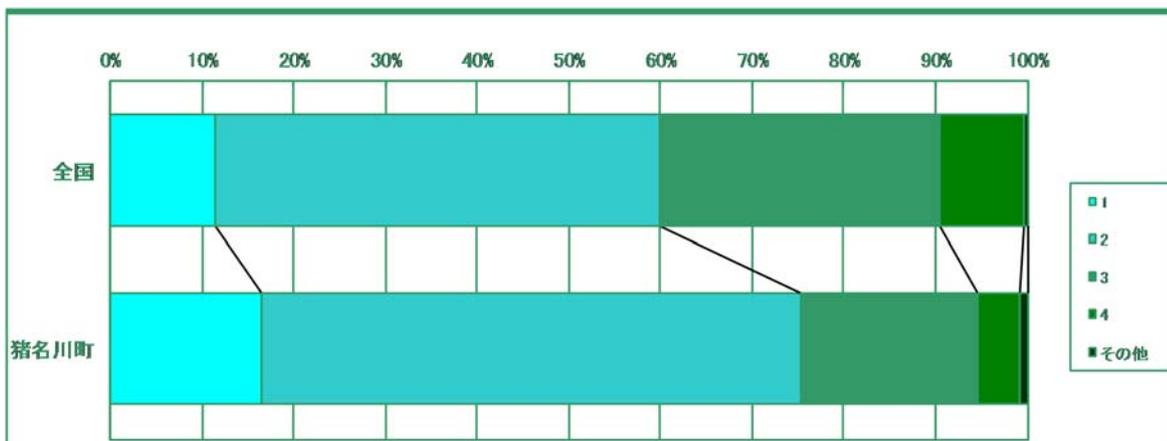
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	14.9	40.0	32.3	12.5	0.3
猪名川町	19.8	50.1	20.1	8.8	1.2



○「自分には良いところがある」と答えた生徒が、69.9%（昨年 58.3%）と昨年より増加し、全国平均 54.9%より大幅に上回り良好な状況にあります。

自分は、友だちから認められていると思う

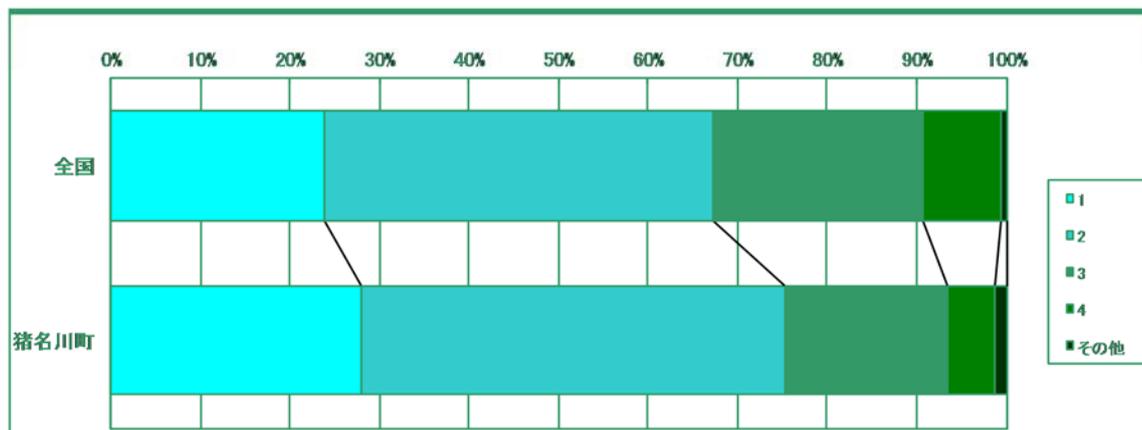
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	11.5	48.5	30.5	9.2	0.4
猪名川町	16.5	58.7	19.5	4.4	0.9



○友だちから認められている自己認識は 75.2%（昨年 69.1%）と昨年度より増加し、非常に良い傾向にあります。学級経営上も「認め」「認められる」関係は大切で、学級適応力は良好です。

自分は、家の人から認められていると思う

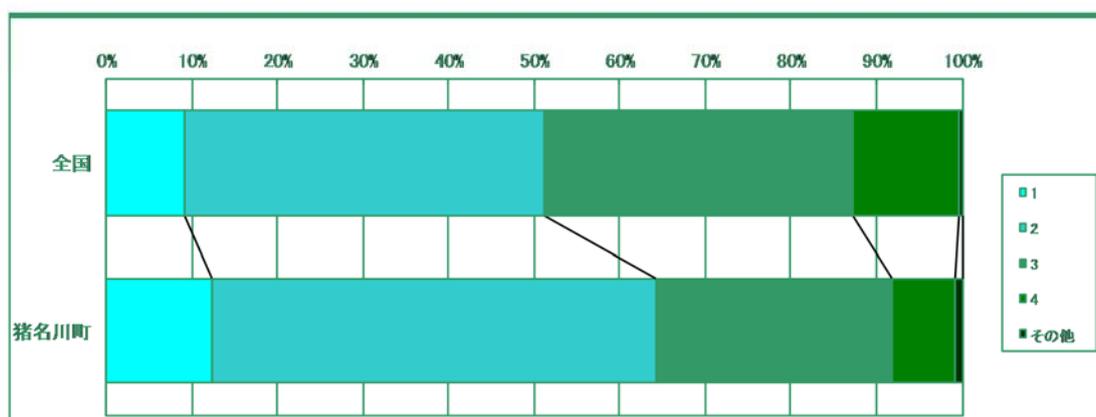
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	23.9	43.5	23.2	8.9	0.5
猪名川町	28.0	47.2	18.3	5.3	1.2



○家の人から認められている自己認識は75.2%（昨年71.2%）で全国平均67.4%より高く、多くの生徒は、家庭での存在を大きく感じており良好な状況にあります。

自分は、先生から認められていると思う

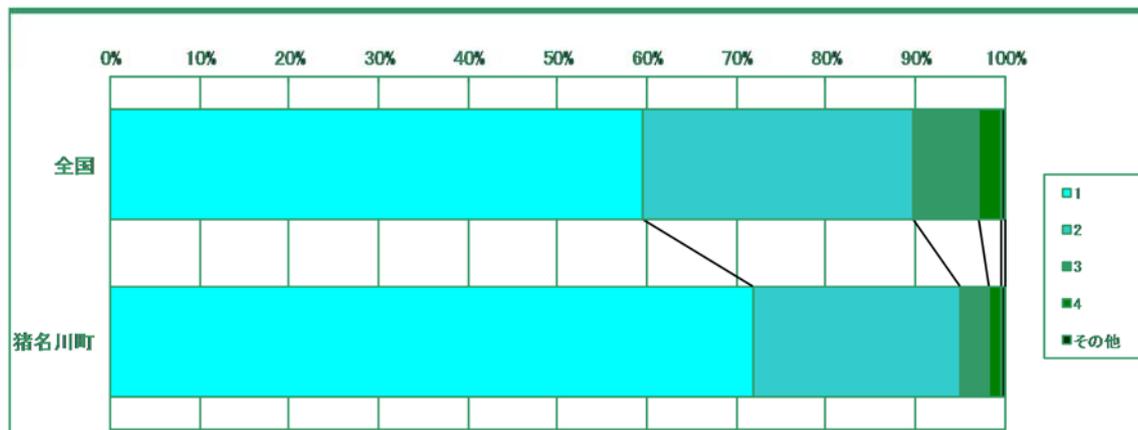
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	9.2	42.0	36.1	12.3	0.4
猪名川町	12.4	51.9	27.4	7.4	0.9



○先生から認められている自己認識は64.3%（昨年54.6%）で、全国平均より上回っています。先生との関係が良好であることがうかがえます。

自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う

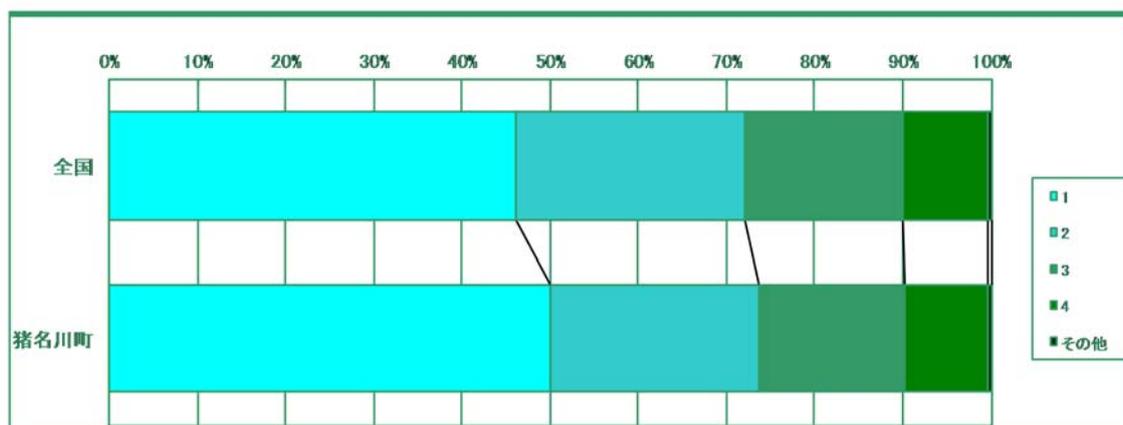
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	59.5	30.3	7.2	2.6	0.4
猪名川町	72.0	23.0	3.2	1.5	0.3



○ほとんどの生徒 95.0% (昨年 92.3%) が、自分の力をできる限り伸ばしたいと、向上心が非常に高く良好な状況にあります。

将来の夢や目標をもっている

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	46.0	26.0	18.0	9.7	0.3
猪名川町	50.1	23.6	16.5	9.4	0.3



○「将来の夢や目標をもっている」の肯定率は 73.7% (昨年 77.1%) と全国平均より高いです。将来に向けてはっきりとした夢や目標を持つ向上心が表れています。進路を考える中学生の段階の為、夢や目標を持っていない 25.9% の生徒さんに向けたサポートが必要と考えます。

■ 発展質問回答状況とクロス集計

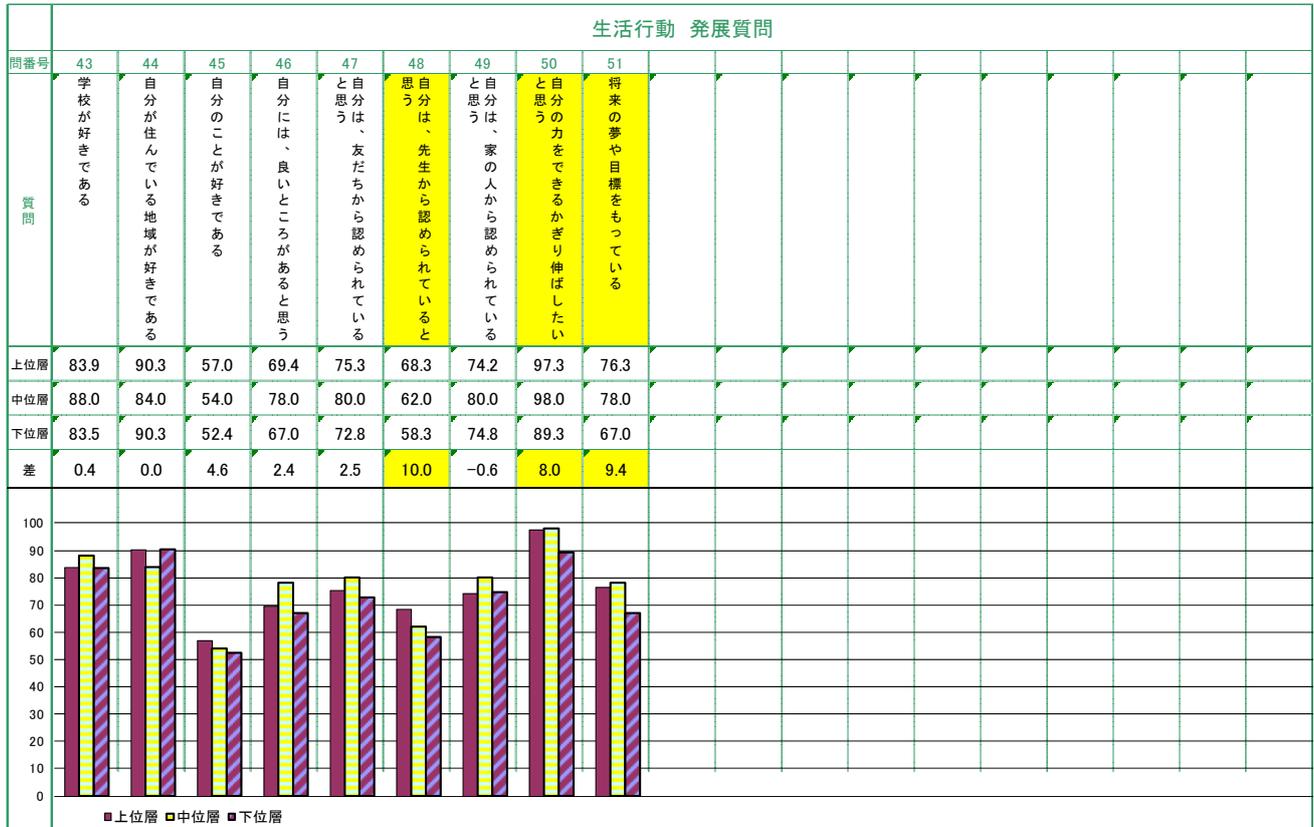
【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年
生活行動

学年・発展質問3階層回答傾向

猪名川町教育委員会
第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。肯定・否定に区分できない質問については、表示しておりません。

※「生活行動」の『学年・発展質問3階層回答傾向』では、学年における「生活行動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけました。

※網のかけられた質問については、学年における「生活指導」の参考してください。

○上表は自己肯定感や郷土愛などの質問と学力との相関クロス集計である。上位層の生徒が肯定的に回答しており、概ね下位層の生徒と比して肯定率が高いことがわかります。

- ・「自分は、先生から認められていると思う」と回答した上位層 68.3%の方が下位層より 10.0ポイント高い。
- ・「自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う」と回答した上位層 97.3%の方が下位層より 8.0ポイント高い。
- ・「将来の夢や目標をもっている」と回答した上位層 76.3%の方が下位層より 9.4ポイント高い。

☆上位層・下位層の区別なく、ほとんど全ての生徒が、「学校が好きである」と肯定的に回答し、「自分は先生から認められていると思う」が昨年度より全ての層で回答が増えました。

信頼関係が構築され学級環境が向上したと考えられる。明るく希望に満ちた学校生活を送るためには「認め」「認められる」関係が実感できる学級環境を作るよう努めます。

■ 学習活動調査（国語・数学・英語）

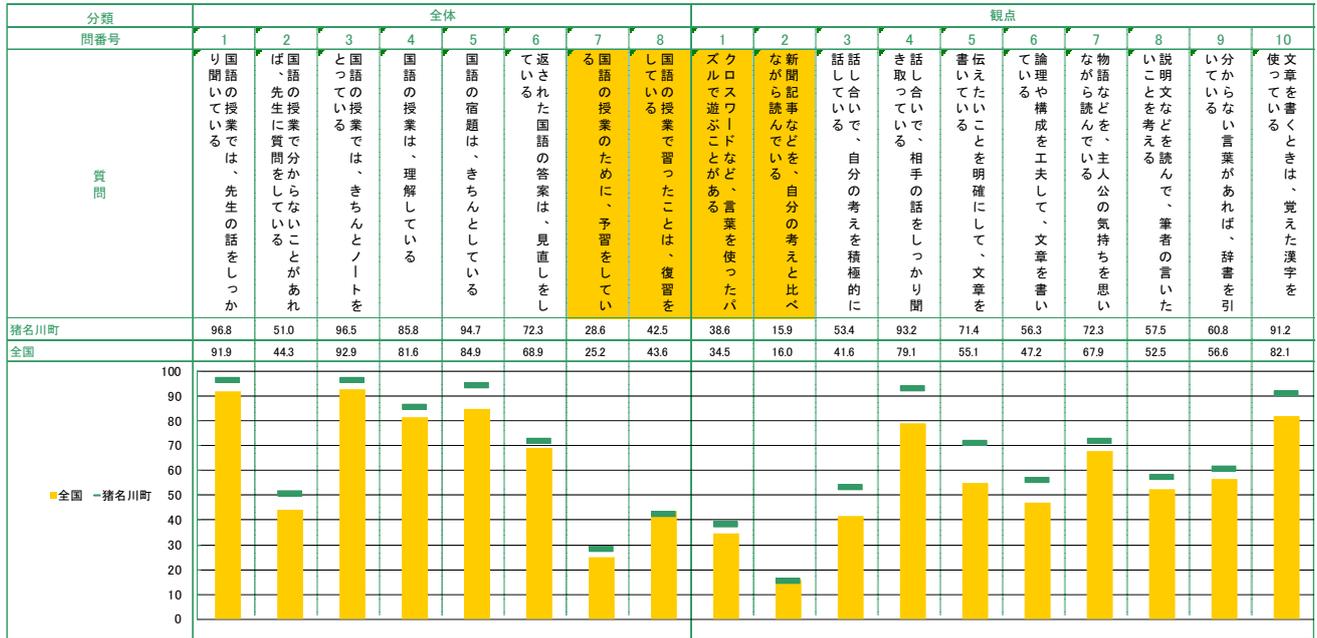
【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年
学習活動(国語)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会
第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。

※「学習活動」の「学年・回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の質問に網をかけました。また、全国との比較も示し、全国肯定率に対してマイナス15%以上乖離した質問を太線で囲みました。網のかけられた質問や太線で囲まれた質問については、学年における「教科指導」の参考にしてください。

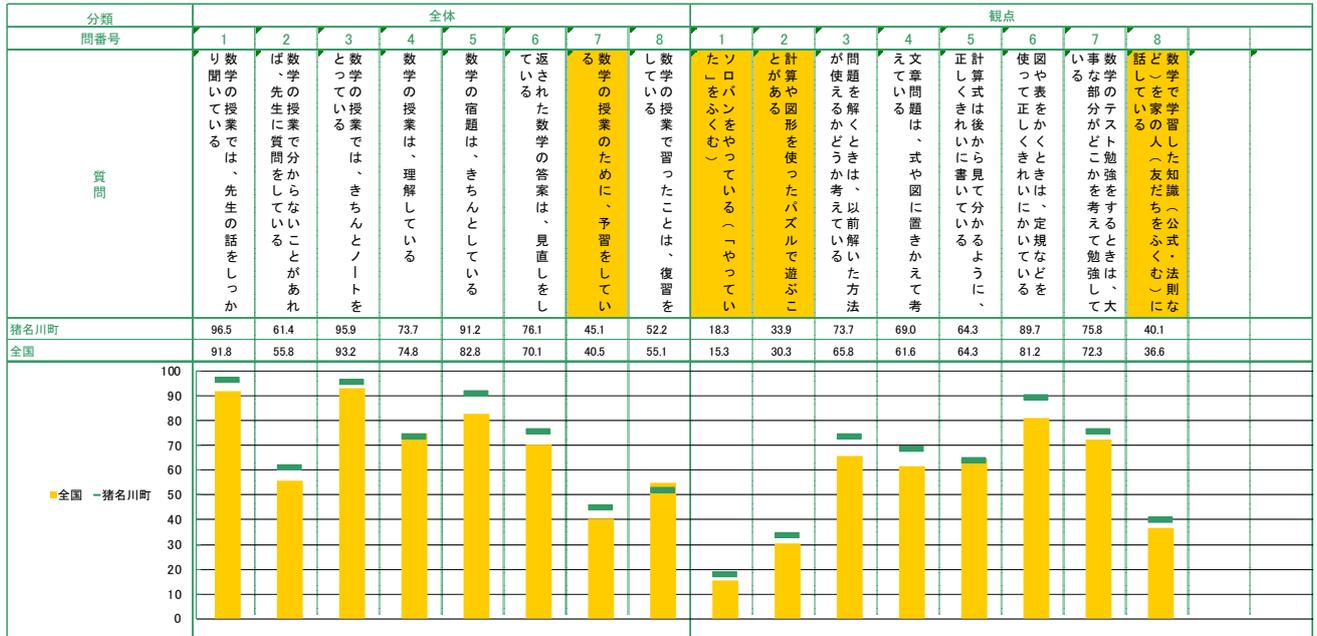
【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年
学習活動(数学)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会
第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。

※「学習活動」の「学年・回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の質問に網をかけました。また、全国との比較も示し、全国肯定率に対してマイナス15%以上乖離した質問を太線で囲みました。網のかけられた質問や太線で囲まれた質問については、学年における「教科指導」の参考にしてください。

分類 問番号	全体								観点							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
質問	英語の授業では、先生の話をしっかり聞いている	英語の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている	英語の授業では、きちんとノートをとっている	英語の授業は、理解している	英語の宿題は、きちんとしている	返された英語の答えは、見直しをしている	英語の授業のために、予習をしている	英語の授業で習ったことは、復習をしている	「英語検定」の勉強をしている	英語の勉強をしている	新しい単語が出てきたら、発音やつづりを覚えるための練習をしている	A・L・Tと積極的に英語で話している	英文を聞き取るために、自分なりの工夫をしている	英文を読み取るために、自分なりの工夫をしている	英文のテスト勉強をするときは、大事な部分でどこかを考えて勉強している	英語で学習した知識(単語など)を家の人へ友だちへ(ふくむ)に話している
猪名川町	96.8	62.2	95.0	79.6	92.0	76.7	65.5	57.5	28.6	26.0	60.2	39.5	60.2	67.8	73.2	46.6
全国	91.0	53.5	88.7	69.8	82.1	68.5	49.8	58.2	23.8	16.4	54.7	26.6	51.2	59.7	70.7	41.0

※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。
 ※「学習活動」の『学年・回答傾向』では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の質問に網をかけた。また、全国との比較も示し、全国肯定率に対してマイナス15%以上乖離した質問を太線で囲みました。
 ※網のかけられた質問や太線で囲まれた質問については、学年における「教科指導」の参考にしてください。

- 国語・数学・英語ともに学習活動状況は、全国平均から見ても良好です。「国語・数学・英語の授業で先生の話をしっかり聞いている」の回答は、全教科とも肯定率 96%を超え授業態度がしっかりとしていることがうかがえます。また、全教科「授業ではきちんとノートをとっている」も 95%以上となっておりほとんどの生徒が実行しており良好です。
 - 全教科「宿題はきちんとしている」も 90%を超え、各教科の全国平均よりはるかに高い肯定率です。
 - 「授業は理解している」は、国語と英語に関しては全国平均を上回っているが、数学は全国平均を 1.1 ポイント下回っています。
 - 全教科「授業のために、予習をしている」は全国平均より上回っています。しかし、国語・算数では肯定率が 50%を下回っており、積極的な予習への取り組みが必要です。
 - 国語・数学・英語ともに「授業で習ったことは、復習をしている」と肯定的に回答した生徒が全国平均より下回っていて、昨年に引き続き課題となっています。
- ※宿題は定着していますが、それ以外に予習・復習の習慣を意識させたいところです。

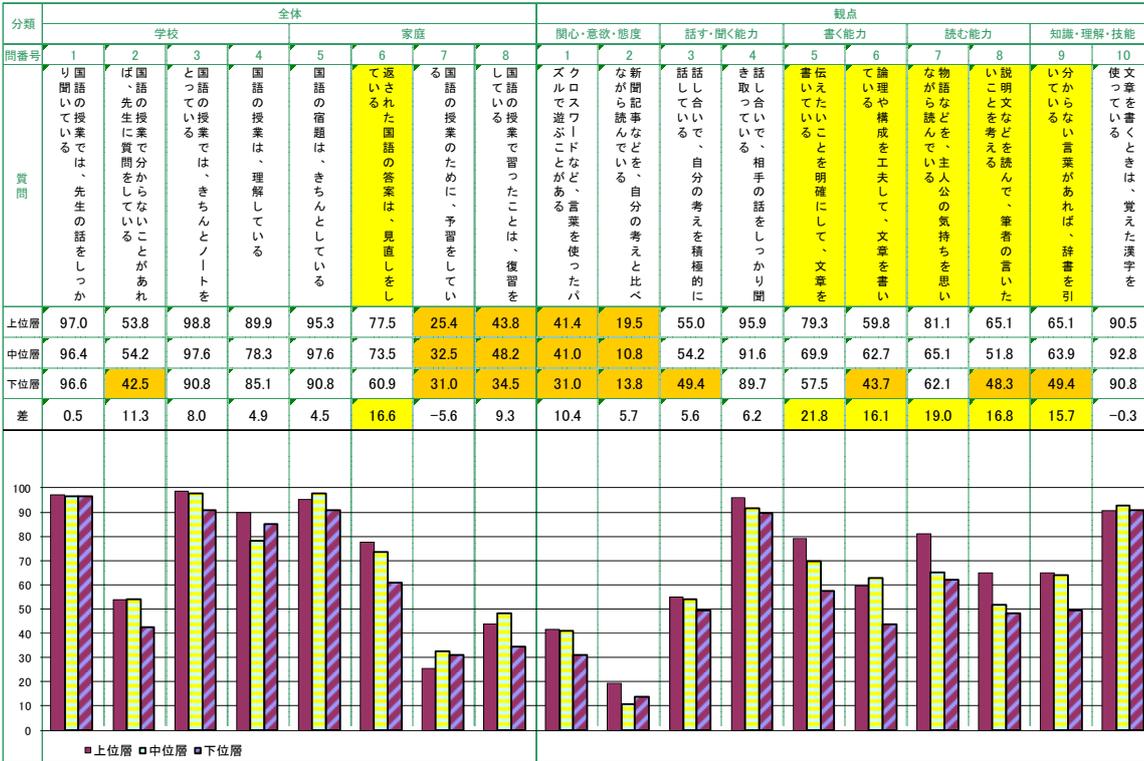
■学習活動調査クロス集計（国語・数学・英語）

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年 学年・学習3階層回答傾向
学習活動(国語)

猪名川町教育委員会
第2学年



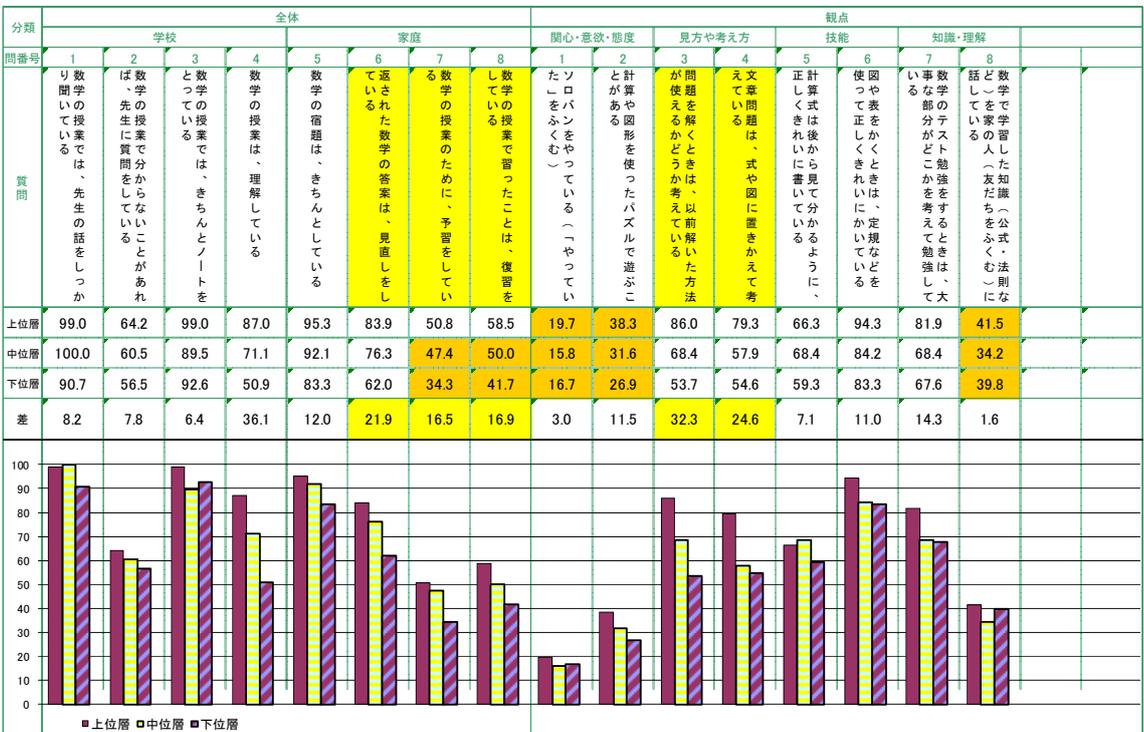
※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
※「学習活動」の「学年・学習3階層回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけた。 ※網のかけられた質問については、学年における「教科指導」の参考にしてください。

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年 学年・学習3階層回答傾向
学習活動(数学)

猪名川町教育委員会
第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
※「学習活動」の「学年・学習3階層回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけた。 ※網のかけられた質問については、学年における「教科指導」の参考にしてください。

分類	全体								観点							
	学校				家庭				関心・意欲・態度		表現の能力		理解の能力		知識・理解	
問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
質問	1 英語の授業では、先生の話をつか	2 英語の授業では、先生に質問を	3 英語の授業では、きちんとノ	4 英語の授業は、理解している	5 英語の宿題は、きちんとしている	6 返された英語の答えは、見直しを	7 英語の授業のために、予習をして	8 英語の授業で習ったことは、復習を	1 「英語検定」の勉強をしている	2 テレビ(ラジオをふくむ)などで、英語の勉強をしている	3 新しい単語が出てきたら、発音やつづりを覚えるための練習をしている	4 A L T と積極的に英語で話している	5 英文を聞き取るために、自分なりの工夫をしている	6 英文を読み取るために、自分なりの工夫をしている	7 英語のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している	8 英語で学習した知識(単語など)を家の人(友達)をふくむに話している
上位層	97.7	68.6	97.1	94.2	93.0	86.0	73.3	64.0	41.3	26.7	73.8	39.5	65.1	77.3	84.3	50.6
中位層	100.0	52.2	93.5	71.7	95.7	71.7	67.4	52.2	17.4	28.3	60.9	41.3	58.7	63.0	71.7	47.8
下位層	94.2	57.0	92.6	62.0	89.3	65.3	53.7	50.4	14.9	24.0	40.5	38.8	53.7	56.2	57.9	40.5
差	3.5	11.6	4.5	32.2	3.8	20.8	19.5	13.5	26.4	2.8	33.3	0.7	11.4	21.1	26.5	10.1

※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
 ※「学習活動」の「学年・学習3階層回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけた。網のかかれた質問については、学年における「教科指導」の参考してください。

○ 「国語」の学習活動で15%以上の格差があった観点項目

- ・ 家庭＝返された国語の答えは、見直しをしている。
- ・ 書く能力＝伝えたいことを明確にして、文章を書いている。
論理や構成を工夫して、文章を書いている。
- ・ 読む能力＝物語などを、主人公の気持ちを思いながら読んでいる。
説明文などを読んで、筆者の言いたいことを考える。
- ・ 知識・理解・技能＝分からない言葉があれば、辞書を引いている。

○ 「数学」の学習活動で15%以上の格差があった観点項目

- ・ 家庭＝返された数学の答えは、見直しをしている。
数学の授業のために、予習をしている。
数学の授業で習ったことは、復習をしている。
- ・ 見方や考え方＝問題を解くときは、以前解いた方法が使えるかどうか考えている。
文章問題は、式や図に置きかえて考えている。

○「英語」の学習活動で15ポイント以上の格差があった観点項目

- ・学校＝英語の授業は、理解している。
- ・家庭＝返された英語の答えは、見直しをしている。
英語の授業のために、予習をしている。
- ・関心・意欲・態度＝「英語検定」の勉強をしている。
- ・表現の能力＝新しい単語が出てきたら、発音やつづりを覚えるための練習をしている。
- ・理解の能力＝英文を読み取るために、自分なりの工夫をしている。
- ・知識・理解＝英語のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している。

☆国語・数学・英語ともに上位層・下位層とも、「先生の話をしっかり聞いている」「きちんとノートをとっている」は肯定率が高くしっかりとした授業態度がうかがえます。

しかし、「授業は理解している」では、国語は前年度より上位層と下位層の格差は大幅に狭まったが、数学・英語については、前年度同様上位層と下位層で大きな格差が見られます。

国語＝4.9ポイント（昨年23.7ポイント） 数学＝36.1ポイント（昨年31.5ポイント） 英語＝32.2ポイント（昨年42.7ポイント）。

特に数学の肯定率で格差が広がっています。授業はしっかりと聞いているように思われますが、実際には下位層で理解していない生徒が多いです。下位層でもわかる授業の工夫が必要です。

☆「返された答案の見直しをしている」も上位層と下位層では大きな格差が見られます。

国語＝16.6ポイント（昨年22.6ポイント） 数学＝21.9ポイント（昨年18.8ポイント） 英語＝20.8ポイント（昨年32.6ポイント）。日々の授業や宿題は良好であるため、復習や答案の見直しといったことを通して学習内容の定着を図りたいと考えます。